



7 月は新書を読もう！

今月は「新書を読む月間」です。

一人 1 冊は新書を読み、感想文を記入しましょう。**7 月25日まで**に記入し、提出してください。よく書けているものは図書館だよりで紹介します。

新書を読むことは、小論文や大学入試にも役立ちます。

新書の読み方、選び方はカラフル 6 月号にも掲載していますので、参考にしてください。

おすすめ

まほら館には科学に関する新書レーベルがいっぱいあります！

サイエンスアイ新書（約300冊）・講談社ブルーバックス（約150冊）

理科系の分野に興味がある人は、ぜひ読んでみてください！

※ブルーバックス…1963年創刊の科学新書レーベル。「科学は難解である」という先入観をなくし、多くの人々に科学への興味と科学的な視点をつちかうのが目標。

おすすめ

「新書を開いてみたけど、字がぎっしりで読みにくそう。全部読めるか心配」と思った人へ。「新書」の中にも初心者向けのレーベルがあります！

岩波ジュニア新書・ちくまプリマー新書は中高生向けの「新書」です。

探究好きの人には、岩波ジュニア新書の『新種発見物語 足元から深海まで11人の研究者が行く！』がおすすめ。ちくまプリマー新書は、『学校はなぜ退屈なだけ大切なのか』が令和4年度の鹿児島県高校入試で出題されています。この機会にぜひ読んでみてください！

新刊紹介

新しく入った本の中から、おすすめの本を紹介します。気になる本があったらぜひ借りて読んでみましょう！

	タイトル／著者／出版社	あらすじ	請求記号
	薬屋のひとりごと 16 ／日向夏／主婦の友社	皇帝の手術を無事に終えて半月、猫猫の日常は忙しくも平常に戻っていたが、感染症が発生し——。アニメ化もされた人気シリーズの最新刊。	913 ヒ 16
	チーム・オルタナティブの冒険／宇野常寛／集英社	「僕」はある地方都市に暮らす高校生だった。愛すべき仲間たちとの変わり映えのない、退屈な、しかし心地よい閉じた楽園が、ある事件をきっかけにゆるやかに崩れていく。高校生たちのひと夏の冒険譚。	913 ウ
	夜がうたた寝してる間に／君嶋彼方／KADOKAWA	高校二年の冴木旭には、時間を止めるという特殊能力がある。だが旭にとって一番大事なのは、普通の場所で、普通の人と同じように生きていくことだ。異質な存在に向けられる無遠慮な視線や偏見に耐え、必死で笑顔をつくっていた旭だったが、ある事件が起こり……。	913 キ
	日本のコメ問題／小川真如／中央公論新社	半世紀で大変貌を遂げた日本人とコメの関係を、転換点ごとに整理。そして、残された未解決問題がもたらす最大の危機に警鐘を鳴らす1冊です。	611 オ
	ぼっちのままで居場所を見つける／河野真太郎／筑摩書房	『アナと雪の女王』でひとり氷の城を作ったエルサは本当に孤独だったのか。映画、マンガ、英文学の名著、とある女王の史実までを読み解き、良い孤独のある社会を想像する新書です。	361 コ

コンクールに挑戦してみよう

夏休みに向けて、たくさんのコンクールが開催されています。
少しでも興味のあるものは、ぜひ挑戦してみましょう。
コンクール詳細はまほら館まで尋ねてください。

コンクール名	内容	締め切り
第 69 回西日本読書感想文コンクール	本を読んで、その感想を絵に描きましょう。	10/17 (金)
第 71 回青少年読書感想文全国コンクール	本を読んで、その感想文を書きましょう。課題図書、自由図書の部門から選べます。	9/19 (金)
第 45 回全国高校生読書体験記コンクール	読書をしたことによる自分の内面や生活の変化、読後に起きたさまざまな変化を自ら見届けられるような読書体験を書きましょう。読んだ本は図鑑や地図、漫画でもOK！	9/22 (月)
第 16 回「いっしょに読もう！新聞コンクール」	日本新聞協会主催のコンクール。家族や友達といっしょに新聞を読み、感想や意見を書いて応募します。	9/8 (月)
第 13 回中高生のためのワタシの一行大賞	新潮社主催のコンクールで、対象図書を読んで印象に残った一行を選び、なぜそれを選んだかを書きます。	10/1 (水)
第 29 回全国高校生創作コンテスト	國學院大學が主催するコンテスト。短編小説、現代詩、短歌、俳句の4つの部門があります。	9/5 (金)
第 14 回お弁当甲子園 	鎌倉女子大学が主催するお弁当のコンテスト。お弁当の写真と、誰に作ったのか、そこに込められた想いを書いて応募します。	9/5 (金)
POPコンテスト2025	名古屋学院大学商学部が主催の、本のPOPコンテスト。POPのデザインや総合的な出来栄を競う総合部門と、キャッチコピーの文面だけの部門があります。	11/14 (金)
JICA 国際協力中学生・高校生エッセイコンテスト2025	JICA主催のコンテストで、「世界の幸せのために私たちができること」をテーマにしたエッセイを書きます。	9/17 (水)

読書感想文 課題図書の紹介

	タイトル／著者／出版社	あらすじ	請求記号
	「コード」のぼくが見る世界／五十嵐大／紀伊国屋書店	コードとは、耳が聴こえない、聴こえにくい親のもとで育つ、聴こえる子どものこと。著者が幼少期の葛藤や自身のなかにある偏見と向き合いながら、コードの目で見えた世界を綴る一冊。	369イ
	銀河の図書室／名取佐和子／実業之日本社	県立野垂高校の図書室で活動する「イーハトー部」は、宮沢賢治を研究する同好会。部長の風見先輩が「ほんとうの幸いは、遠い」という言葉を残して姿を消してしまう。高校生たちは賢治が残した言葉や詩、そして『銀河鉄道の夜』をひもときながら先輩の謎を追っていく……。	913ナ
	夜の日記／ヴィーラ・ヒラナンダニ／作品社	イギリスからの独立とともにインドとパキスタンのふたつに分かれてしまった祖国。ちがう宗教を信じる者たちが、互いを憎みあい傷つけあっていく。少女とその家族は安全を求めて長い旅に出た。自分の思いをことばにできない少女は、亡き母にあてて揺れる心を日記につづる。	933ヒ

このマークに注目！



読書感想文コンクールの課題図書についているこのマーク。なにやら変な生き物が鼻に二本の棒を突っ込んでいるように見えますよね。

実はこれは、ギリシャ神話に登場する牧羊神・パンという神様なんだそう。そして棒ではなく、二本の笛を（口で）同時に演奏しているそう。陽気で笛を吹くのが得意だったようです。

「青少年のおおどかな（おっとり、おおらか）な読書をたたえこの像をシンボルマークとした」ということで、桑原巨守氏の彫刻がもとなっています。

皆さんもおおらかに読書を楽しみましょう。